

# 県民保協たより

発行所 一般社団法人岡山県民間保育所協議会調査広報委員会 印刷所 二華園印刷 ☎ 086-526-6633



## 「備中国分寺」(総社市)

# 翔



昨年は大手企業の過度の残業が問題となった。世間では所謂「働き方改革」が叫ばれている。我々にとっても他人事ではなく、保育士不足と言われる中、職員が少しでも働きやすいようにと苦慮している。

当園では十二月の発表会に続いて、毎年二月には市民会館で年中年長組の子ども達が合奏を行う。それに向けて年末年始に渡って毎日練習する。時には自分の思うように演奏が出来なくて悔し涙を流す子どももいる。しかしながらその成果あつてか、当日にはこの大舞台で緊張しながらも堂々と見事な演奏を披露してくれる。保護者をはじめ職員も大いに感動する瞬間である。

子ども達はこうした経験の中から達成感と共に喜びを味わう。日々の生活の中で主に「遊び」を通して学び成長してゆくのであるが、同時に我々保育者も毎日子ども達の成長に関わりながら、保育という「仕事」を通して自らも成長してゆくのである。

我々は「人を育てる」という尊い仕事に携わっている。これには自覚と責任が伴う。この春には新卒の職員を迎える。彼らには何よりも保育士としての「誇り」を持って日々の保育に向き合って欲しいと願うのである。

八木 一成

# 幹部研修会報告

十一月六日きらめきプラザ三階三〇一会議室に園長、主任ら百二十六名が集まり平成二十九年度幹部研修会が開催された。テーマは、第一部「処遇改善等加算Ⅱにかかわるキャリアアップ研修と保育士不足の解消に向けて」、第二部「地域における公益的な取組」の二つである。

第一部では岡山県保健福祉部子ども未来課総括参事の七村陽一郎氏が平成三十九年度から始まる岡山県主催のキャリアアップ研修の方針を説明。  
七村氏はまず研修の目的と理由、実施主体、分野と対象者、内容と時間について概説された。

目的は職務内容に応じた保育士等の専門性の向上を

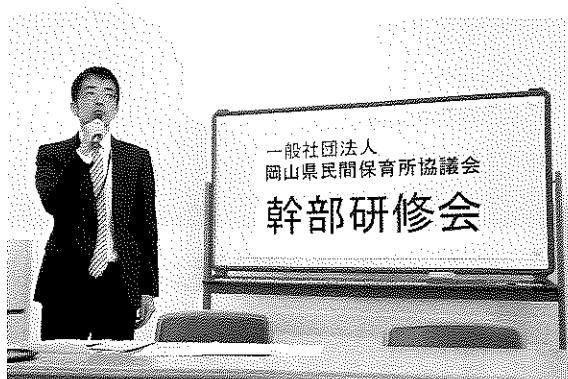
図るため、理由は本年度から処遇改善等加算Ⅱ制度として副主任手当や職務分野別リーダー手当が導入され、この研修の受講が義務付けられたためである。実施主体は岡山県知事が指定した研修実施機関（市町村や保育士養成校）あるいは岡山県が適当と認める団体や業者である。研修分野、内容、時間は国の基準通り。

分野は①乳児保育、②幼児教育、③障害児保育、④食育・アレルギー対応、⑤保健衛生・安全対策、⑥保護者支援・子育て支援、⑦保育実践、⑧マネジメントの八つ、一分野あたり十五時間以上の研修となる。

次に平成三十年から三十三年度までの研修計画を説明。前半の二年間は各

年度二千二百人、後半の二年間は千九百人と千八百人で、合計八千百人が受講対象となる。

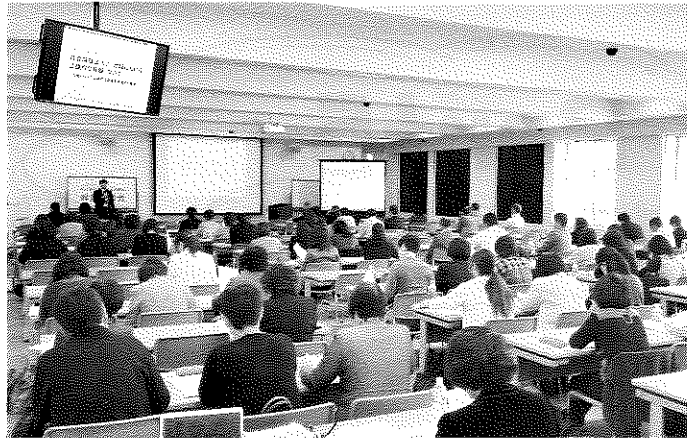
また平成三十年度についてはより具体的に、副主任手当の対象者は①～⑥分野が各二百人、⑦が百人、⑧が三百人で合計千六百人、職務分野別リーダー手当の対象者は①～⑥分野が各百人で合計六百人の研修を提供する。十五時間の研修



は三日に分けて実施し、一回の受講者数は百人に制限する。研修会場は、県南二箇所、県北一箇所の予定である。研修の運営は岡山県が適当と認める団体や業者に委託し、受講者の募集は五月以降になるとのことであった。

なお、二十九年度に実施した岡山県主催の三歳未満児保育サービス向上支援研修や日本保育協会主催の乳児保育担当者研修、保健衛生・安全対策研修、幼児教育担当者研修はキャリアアップ研修として認定される。

質疑応答の後、七村氏は昨年五月に開設された岡山県保育士・保育所支援センターの目的や活動内容を説明された。学生や潜在保



育士に対して自園の職場紹介・PRができるとのこと。詳細は子ども未来課のホームページから支援センターのページを選び確認してほしいとのことであった。

第二部では岡山県社会福祉協議会地域福祉部副部長の吉田光臣氏が地域における公益的な取組について説明された。

吉田氏はまず社会福祉法の改

正によって全ての社会福祉法人が地域における公益的な取組を実施する責務を負うことになったと指摘され、何が公益的な取組となるかについて解説された。

次に地域公益的取組を推進するために「岡山県地域公益活動推進センター（仮称）」を新たに設立しようとしており、同センターの理念や事業内容を説明され、一法人でも多く参加して欲しいと訴えられた。

いずれのテーマも新たな活動であり、二時間半の研修時間は十分に質疑応答ができなかった。キャリアアップ研修については後日、調査広報委員会がアンケートを実施した。課題や要望もまとめてあるので参考にしたい。

岡山県民間保育所協議会

会長 小松原 望

### 幹部研修会を受講した感想

幹部研修会に出席させていた

やすなどの対応が期待されるのではないかと感じました。

だき、処遇改善等加算Ⅱにかかわるキャリアアップ研修と保育士不足の解消に向けて、県の七

また、地域における公益的な取り組みについて県社協の吉田

村陽一郎総括参事による講演と、小松原会長による具体的で

光臣副部長より、岡山県地域公益活動推進センターの設立のお話をさせていただきました。公益

詳細な説明をお聞きし、普段勉強をしていない身には非常に分かりやすく、ありがたく思いました。

話をしていただきました。公益的な取り組みという事では、既にそれぞれの地域で同様のネットワークを構築されている所もあり、県でまとめる必要がある

時間いっぱいまで質問があり、キャリアアップ研修の充実の

のかどうかという疑問も持ちましたが、大変内容の濃い研修会に参加させていただきました。とても勉強になりました。ありがとうございました。

為、実施回数や定員を大幅に増やす予定との事でしたが、集中

きこの保育園

して応募があると研修に参加できない者も出てくるのではない

園長 今田 一二

か。場合によっては四年間で取り切れない園もあるのではと不安です。

この機関誌は、共同募金より一部助成を受けています。

そうした場合への柔軟な対応と、地域での研修をキャリアアップ研修とする認可を増

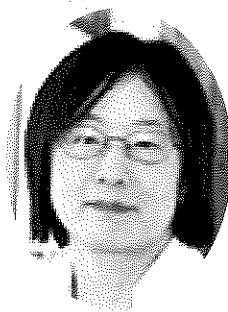
ます。

# 保育探訪 Part5

## ～非認知スキルを育てる子育て～

大阪大谷大学  
教育学部教授

長瀬 美子



最近、「非認知能力」「非認知スキル」ということばがよく聞かれるようになりまして。聞き慣れないことばのようですが、「考える」「理解する」といった認知能力に対して、「忍耐力」「継続力」「自己コントロールの力」などをさし、これまでも大切にされてきたものです。日常の子育てやしつけで言えば、「最後までやり遂げる」「ガマンする」などといった姿勢として考えていただければ理解しやすいと思います。その力を形成するために「非認知スキルを育てる」ということが重要課題となってきました。あきらめず最後までやり遂げたり、ガマンすることができるといっては、どの保護者にとっても共通の願いで

あろうと思います。それでは、この非認知スキルを育てるにはどうしたらいいのでしょうか。がんばることを強制したり、ガマンを強いるだけでは非認知スキルは育ちません。非認知スキルが育つには、それにふさわしい土台や経験などが必要で、家庭での子育てにおいて大切にしたいことを三点あげます。

第一に重要なのは、「自分は大切にされている」「受け入れられている」という実感や受容感とそれにもとづく自己肯定感です。非認知能力は、ガマンや自己コントロールなど「抑制」の面が強調されがちですが、こうした抑制に向けて力が発揮できるためには、根本に「自分を大切に思う気持ち」が育っていないければなりません。早くから抑制だけを求められるのではなく、自分の思いを出し、それをしっかりと受けとめられた経験が必要なのです。自分の思いがわかってもらえているからこそ、子どもは、気持ちを持ったり、立て直したり、立ち直ったり、ガマンしたりできるのです。第二に重要なのは経験

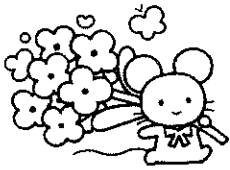
です。「忍耐力」「継続力」「自己コントロールの力」は、ことばで教えられて育つものではありません。実際に活動に継続的にとりくみ、困難も乗り越えてやり遂げる経験を積み重ねて育つていくものです。だからこそ、子どもに豊かな経験をさせることが大切です。

その際に注意しなければならぬのは、経験の「質と時期」です。「豊かな経験」というと、できるだけたくさん早く時期からと考えてしまいがちですが、大切なのは本人が興味・関心をもって主体的にとりくむかどうかです。イヤイヤさせられるだけでは、活動に対するマイナスイメージが形成されるだけで、かえって非認知能力の形成を妨げます。興味をもって楽しくとりくむことができ、その中で継続や忍耐を少しずつ経験できるような内容が子どもたちにも非認知能力を形成します。

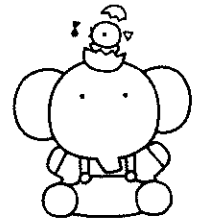
第三には、他者の存在と承認です。先にあげた自己肯定感が育つためにも、とりくんだことがよい経験になるためにも、機会と環境を用意して

られて、いつしよにとりくんでくれ、がんばれたときに承認してくれる他者の存在が欠かせません。乳幼児期においてその存在は、まずはおとなであり、徐々に友だちにも広がってきます。とりくむのは子ども自身ですが、信頼できる他者の存在を感じながらとりくむからこそ、力を発揮することができるといえます。がんばったことを承認してもらえて、子どもは「これでよかったんだ」「次もがんばろう」と確信でき、獲得したことが定着していくのです。

毎日の生活や活動の中で、いろいろな経験を通して非認知スキルは育ちますが、一度経験したからといってすぐに育つようなものではないので、年齢や発達を考慮して、ていねいに、継続的に働きかけていく必要があります。忙しい毎日の中でも、子どもといっしょに何かとりくむ機会をつくり、そこでの子どもへの思い、がんばりを認め、困難なことをいっしょに解決していく中で、子どもも非認知スキルは育つのです。



# 岡山県民間保育所協議会主催 保護者研修会報告



## 『親子でリズム遊びを楽しもう!』

あそび歌作家 鈴木 翼 先生

十二月十六日(土)水  
島愛あいサロンにて、保  
育園の親子や地域の親子、  
四十九名が参加し、保護者  
研修会を開催しました。

講師にあそび歌作家の  
鈴木翼さんをお迎えし、親  
子でのふれあい遊びを通し  
て、子育ての楽しさや、子  
どもとのふれあいの大切さ  
を感じてもらおう事を目的と  
しました。

研修会は親子でふれあい  
遊びをしたり、講師の先生  
の子育ての話を聞くなど楽  
しい雰囲気の中で行われま  
した。

講師の先生からは子育て  
を他人と比べて「出来ない」  
と思うのではなく「自分は  
人よりこれが出る」と発  
想の転換をし、自分の出来  
る事をしたら良いのではと  
いう話や、子どもは自分の  
笑顔が両親や周りの人々



小ざくら保育園  
園長 財前 亘

を笑顔にする事に気づく  
と「自分はいてもいい存在  
なんだ」と自尊心を持つこ  
とが出来るとのお話を頂  
き、笑顔で子どもと接する  
事の大切さを改めて実感し  
ました。

参加された保護者の方か  
らは子どもと一緒に参加で  
き楽しかったと多数の声を  
頂き、会場全体が笑顔で溢  
れる楽しい研修会となりま  
した。

## 『子どもに育てよう「思いやり」の心』

子育て支援コンサルタント 塩川 正人 先生

一月二十七日(土)三友  
保育園で保護者と職員四十  
名が参加し、保護者研修会  
を開催しました。

まず、思いやりとは抽象  
的な言葉ではあるが「手  
伝う・励ます・ありがと  
う」を言葉にすることで実  
行しやすくなると教えてい  
ただきました。また、子ど  
もたちは思いやりの心があ  
れば社会に出たときどんな  
困難も乗り越えていくこと  
ができる。子どもたちの未  
来に向けて保護者と保育士  
が二人三脚で思いやり第一  
の生き方づくりをしていく  
ことが大切とお話していた  
いただきました。和やかな雰  
気の中グループワークも行  
い「思いやりシート」に自  
身の課題、改善方法を書い  
て発表し意見交換をしまし  
た。皆、それぞれに課題は  
もっていて解決方法がわか

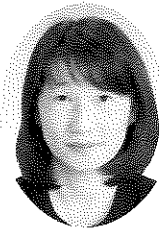
らなかつたけれど、「文章  
にすることで気付かなかつ  
たことに気付けたね」とグ  
ループ内で話しました。

終わりには、自分も相手  
も豊かになる『思いやり貯  
金』をして思いやりの世界  
を広げようとお話してい  
ただきました。

三友保育園  
保育士 井原 彩美



新任園長紹介



〈井原市〉  
いばら保育園  
山下陽子先生

再任園長紹介

赤澤久美子先生

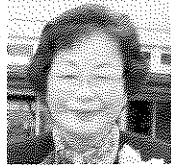
城西保育園の園長先生に  
再任されました。

転任園長紹介

山本 昌子先生

城西保育園  
津山保育園へ

訃報 新見歩久氏



かがやき保育園園長  
平成三十年一月二十一日  
ご逝去(八十六歳)

先生は、昭和三十  
七年に三  
宝保育園  
主任保育  
士として  
勤務後、昭和四十三年に  
社会福祉法人愛和福祉会  
理事長、昭和四十五年  
かがやき保育園園長に就  
任されました。生涯現  
役で、「どのこもこども  
はみなたから」と、愛  
情深く感性豊かに乳幼児  
保育一筋に邁進してこら  
れました。心よりご冥福  
をお祈り申し上げます。

主任保育士の想い

新保育所保育指針の施行を迎えて

平成三十年度から新  
しい保育所保育指針が施  
行されるので、昨年十月  
二十三日に開催された保  
育所保育指針の説明会に  
参加させていただきまし  
た。

新しい保育所保育指針  
では、幼保連携型認定こ  
ども園や保育所で育みた  
い資質・能力や就学まで  
につける力が具体的に示  
されています。各園それ  
ぞれ保育目標やこども像  
がある事と思います。う  
らやす白鳩保育園でも保  
育目標(園の児童像)が  
あり、それを達成して卒  
園することを目的とし、  
〇歳児から保育を行いま  
す。どの園も日々の保育  
の中、「子どもと保育士  
の関係」「保護者と保育  
士の関係」を大切にす  
ることで新保育所保育指  
針のこども像を達成でき  
ると思っています。

うらやす白鳩保育園  
田中 摂子

保育所保育指針が制定  
されてから、約半世紀が  
過ぎた。様々な社会情勢  
を反映して現在に至って  
いる。新指針では、各保  
育所の実情に応じた創意  
工夫を図る事や保育所の  
機能及び質の向上に努め  
なければならぬ事がさ  
らに明文化された。いま  
で以上に責任、専門性が  
求められるようになる  
と感じ、身が引き締まる思  
いだ。四月の施行までの  
間、三つの資質能力を基  
本に、幼児期の終わりま  
でに育ってほしい十の姿  
を踏まえた、園独自の保  
育のあり方を検討、再確  
認し、目標に向けた指導  
計画、自己評価の確立を  
行う事が、園全体の資質  
向上につながると思う。

全職員で試行錯誤し、共  
通理解し、子ども達の為  
に切磋琢磨する事で、私  
達職員も子ども達と共に  
成長していきたい。

三和保育園(倉敷)  
松本 道子

保護者の働く環境の変  
化で三歳未満児から入園  
を希望する家庭が多く  
なっています。まだ小さ  
い我が子を預ける保護者  
の気持ちに寄り添い、共  
に成長を感じる事がで  
きる体験や機会の場を  
作ることも園の大きな役  
割の一つだと感じていま  
す。

四月に保育所保育指針  
の施行を迎え、養護や三  
歳未満児の保育に関わる  
ねらい及び内容、幼児期  
の終わりまでに育ってほ  
しい姿などを全体的な計  
画として、園全体で作成  
していく必要があり、そ  
れと共に保育の質を向上  
させていけるように保育  
者同士が主体的に学ぶ姿  
勢を持つことが大切だと  
考えています。利用する  
全ての方にとって安心し  
て過ごせる場所作りを保  
育者が一丸となり実現し  
ていきたいです。

つばくる保育園  
山部 明子

表紙のことは  
「備中国分寺」

吉備路のシンボル五重  
塔がとても印象的な備中  
国分寺は、岡山県総社市  
にある真言宗御室派の寺  
院です。県内唯一の五重  
塔で、国の重要文化財に  
指定されています。江戸  
時代中期以降に再建され  
た五重塔は総高三十四・三  
メートルの大規模な塔で  
木造本瓦葺きで青銅製の  
相輪をたてています。  
春にはレンゲ祭りが開  
催され、冬にはライトアッ  
プがされるなど、吉備平  
野の自然と調和し四季  
折々の美しい姿を見せて  
くれます。

高谷 智子

編集後記

来年度より新しい保育所  
保育指針が施行されます。  
幼稚園・保育園・認定こ  
も園の目指す子どもの姿が  
統一され、保育の課題や各  
職員のキャリアパス等を見  
据えて、体系的な研修計画  
を作成しなければならぬ  
ことが盛り込まれました。  
今回の紙面で、キャリアアッ  
プ研修についての情報をお  
伝えできたのではないかと  
思います。  
最後に、お忙しい中、原  
稿をお寄せいただきました  
皆様へ感謝とお礼を申し上  
げます。

平松 早苗